

先端医科学 研究の現状

平成21年12月10日(木)

開催時間 9:20～16:40

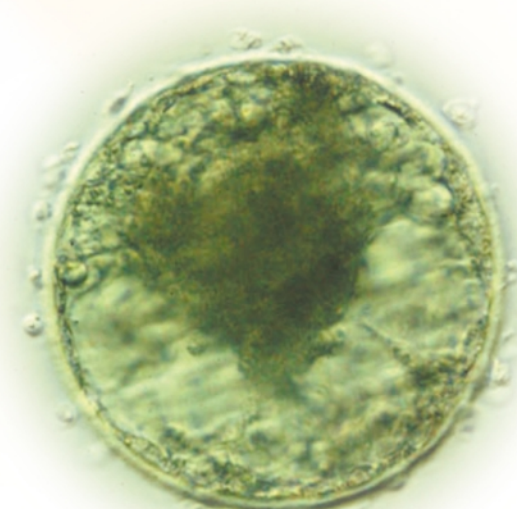
場 所 つくば国際会議場
(エポカルつくば)
茨城県つくば市竹園2-20-3

会費
無料

■参加申し込み方法

参加申し込みはE-mail (tprc2009@primate.or.jp) または FAX (029-837-0218) 宛に、所属、氏名(フリガナ)、連絡先(郵便番号、住所、TEL、FAX、E-mail)を明記のほか、昼食弁当、懇親会参加希望などについてもお知らせください。なお申し込み締め切りを2009年11月27日(金)とします。

詳細(申込書式等)は霊長類医科学研究センターホームページ([URL:http://tprc.nibio.go.jp/](http://tprc.nibio.go.jp/)) または予防衛生協会ホームページ([URL:http://www.primate.or.jp/](http://www.primate.or.jp/)) をご覧ください。



目 程

P R O G R A M

9:20～9:30

開会挨拶

- 独立行政法人医薬基盤研究所 理事長

9:30～12:10

先端感染症研究の現状

9:30～10:10 エイズワクチン開発:霊長類動物モデルの重要性

- 俣野哲朗(東京大学医科学研究所感染症国際研究センター微生物学分野 教授)

10:10～10:50 抗酸菌感染症ワクチンの開発～高発現組換えBCGの構築～

- 向井 徹(国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部 第一室長)

10:50～11:30 カニクイザルのインフルエンザウイルス感染モデル

- 小笠原一誠(滋賀医科大学医学部医学科病理学講座 教授)

11:30～12:10 マラリア原虫のアキレス腱を標的とするSE36マラリアワクチン開発

- 堀井俊宏(大阪大学微生物病研究所分子原虫学分野 教授)

12:10～13:10

— 昼 食 —

13:10～14:10

【特別講演】

Lessons for HIV vaccines from macaques

- Stephen John Kent
(Professor, Department of Microbiology and Immunology, University of Melbourne)

14:10～14:30

— 休 憩 —

14:30～16:30

トピックス2009

14:30～15:00 35型アデノウイルスベクターの開発と霊長類を用いた機能評価

- 水口裕之(大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野 教授)
(独立行政法人医薬基盤研究所遺伝子導入制御プロジェクトリーダー)

15:00～15:30 神経再生を活用した認知症の予防・治療に関する研究

- 久恒辰博(東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授)

15:30～16:00 陽電子放出型断層撮像法(PET)を用いたサルの生体分子イメージング

- 尾上浩隆(独立行政法人理化学研究所分子イメージング科学研究センター)
(分子プローブ機能評価研究チームリーダー)

16:00～16:30 霊長類ES細胞を用いた再生医療の有効性と安全性評価

- 柴田宏昭(独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター プロジェクト研究員)

16:30～16:40

閉会挨拶

- 独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター長

〔主催〕 第5回霊長類医科学フォーラム実行委員会(独立行政法人医薬基盤研究所、社団法人予防衛生協会)

〔後援〕 厚生労働省／文部科学省／農林水産省 〔協賛〕 国立感染症研究所